

あおぞら

2012 3月号

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

今月の TOPICS

- 「麻酔の都市伝説」
- 「看護部のご紹介」
- 「院内の環境整備」

麻酔科部長
看護部
総務課

横山俊郎



内科:(一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科:(一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
小児科:(一般・感染症・アレルギー・予防接種・育児相談)
整形外科:(一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科:(一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
 泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来
 形成外科・脳神経外科

医療法人社団七仁会
田園調布中央病院
〒145-0071



東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://www.tmg.or.jp/denencyofu>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。

● 院内の環境整備

総務課



ご意見箱等で、患者さまからの要望が多かった「トイレにウォシュレットを付けてもらいたい」「病院がもう少し綺麗にならないか？」のご意見に対し、このたび、トイレと階段・廊下・病室の一部を改修いたしました。現在は2階までの改修工事となっておりますが、一部を紹介させていただきます。順次工事の予定でございます。



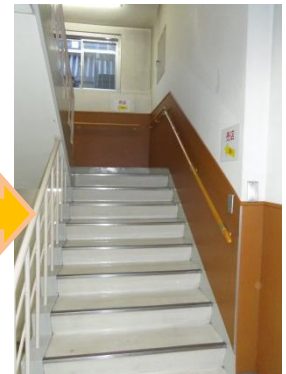
病室の腰壁に木目調のシートを張ることにより落ち着いた空間になりました。



病室および院内のトイレすべてにウォシュレットを完備いたしました。



廊下・階段の一部にも木目調のシートを張り病室と一体感のある空間といたしました。



患者さまからお寄せ頂いた貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め患者さまに満足して頂ける病院作りのために役立ててまいります。

診療受付時間

受付時間：午前の部 8：00～12：00（小児科 11：30） 午後の部 8：00～16：30

診療時間：午前の部 9：00～

午後の部 14：00～

面会時間：11：00～20：00

診療科により受付・診察時間が異なる場合があります。

詳細につきましては、お気軽にお電話または受付までお問い合わせください。

他の患者様に迷惑のかからないよう、面会時間はお守りください。

● 麻酔の都市伝説

麻酔科部長 横山 俊郎



皆さんの疑問に
お答えします。

◆都市伝説とは現代において出所が明確でなく、多くの人に広まっている噂話のこと。今回はそんな噂の真相を先生にお聞きしました。



「お酒が強い人は麻酔が効きにくいって聞いたけど毎日お酒を飲んでいる私は大丈夫？」



心配ありません。

体内に吸収されたお酒（エタノール）は、まずアルコール脱水素酵素（ADH）とシトクロム P450（CYP）のなかの CYP2E1 という水酸化酵素によりアセトアルデヒドに分解されます。つぎにアセトアルデヒドはアルデヒド脱水素酵素（ALDH）によって、酢酸に分解されます。二日酔いの原因はアセトアルデヒドで、日本人には ALDH の働きが弱い人が多いと言われています。お酒が強い人はこの ALDH の働きが強いのですが、麻酔薬・鎮痛薬などの効き目・分解などには関係ないといえます。毎日アルコールを摂取していると CYP2E1 に酵素誘導がおこり、麻酔薬・鎮痛薬の一部では分解が速くなることが知られています。しかし全身麻酔では麻酔中も患者さんの状態や手術の進み具合によって、麻酔薬や鎮痛薬などを調節しながら投与しています。お酒が強いから途中で麻酔が切れてしまうことはありませんので、ご安心ください。それよりも毎日お酒を飲み続けると脂肪肝や肝硬変になって肝機能が低下し、あらゆる薬剤の代謝が遅くなる危険があります。また肝硬変になると出血が止まりにくくなることもあります。定期的な健康診断をお勧めします。

「鎮痛薬を毎日飲んでいるので麻酔が効くか心配で・・・」

医師に相談しましょう。



鎮痛薬も先ほどでてきた CYP によって分解されます。頭痛・生理痛などで飲むくらいなら問題ありませんが、リウマチ・膠原病などで何年間も毎日飲み続けると CYP が酵素誘導をうけて分解が速くなるでしょう。また鎮痛薬には血液が固まりにくくなる副作用を持つものがありますので、主治医にご相談ください。



「体質的に麻酔の効きにくい人はいますか？」

ご安心ください。

薬剤の代謝には肝臓のいろいろな種類の酵素が関与していますし、排出には腎臓の機能がかわってきます。たしかに麻酔薬・鎮痛薬の分解が速い人・遅い人はいます。しかし手術中は患者さんの状態を把握しながら、手術の進行に合わせて麻酔薬・鎮痛薬を調節しています。麻酔が効かないということはありませんので、ご安心ください。

ただし手術が終わって全身麻酔から覚めた後の痛みについては、患者さんそれぞれに個人差があります。同じ手術を受けた場合に、患者さんが感じる痛みの程度は 100 人がそれぞれ違いますし、同じ鎮痛薬を投与しても効き方は千差万別です。また鎮痛薬の副作用も患者さん毎に異なります。こういった意味では「体質的に麻酔の効きにくい人」ではなく、「痛み止めの効きにくい人」はあります。

● 看護部のご紹介

看護部



看護部理念

地域の人々のニーズにあった質の高い看護を提供します。

看護部長



当院の看護部は、現在看護師74名、看護補助者19名、合わせて、93名のスタッフが外来・病棟に配置し、救急・急性期病院として地域の皆様が安心して医療が受けられ、安全で安心な看護ケアを基本に、常に患者様の立場に立ち、人にやさしく信頼される看護・介護を提供できるよう「笑顔」と「思いやり」と「やさしさ」をモットーに質の高い看護に取り組んでおります。

2階病棟



2階病棟は個室10床、大部屋12床、整形外科を主体とした混合病棟です。様々な疾患の患者様が安心して入院生活を過ごせるよう笑顔を決やさず対応しています。

3階病棟



3階病棟は消化器外科中心で化学療法、内視鏡検査、処置、腹腔鏡下手術などが多い病棟です。癌と戦っている患者様も多く痛みに対しては緩和チームが介入し、ストーマや皮膚管理に対しては皮膚排泄ケア認定看護師を中心に一人ひとりに合った看護提供に努めています。入退院が多く忙しい病棟ですが、新人・ベテラン協力しあい笑顔でパワフルに勤めています。

4階病棟



内科病棟です。
「明るく・楽しく・元気よく、今日も1日頑張るぞ☆」をモットーにスタッフ一丸となって頑張っています。
患者様に安全・安心を提供できるよう努力しています。

手術室



手術室を紹介いたします。年間、700件ほどの手術を行っています。
患者さまには安心して手術が受けられるように、術前訪問や手術室見学を実施し、近代的で高度な医療を目指しております。

外 来



救急体制の強化を図り、随時、患者様に安心して治療を受けていただけるよう患者様の声に耳を傾け、スタッフ一同が笑顔を決やさず患者様の心の支えになれるよう日々、努力しております。